

令和8年度 全国学力・学習状況調査 四街道市内小中学校の結果概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 実施日・「教科に関する調査」の実施教科・対象学年

実施日：令和8年4月23日（木）、（中学校英語）4月20日～23日のうち1日

実施教科：小学校…国語、算数

中学校…国語、数学、英語 *英語のみ：CBT方式

*CBT…一人一台端末を使ってオンラインで試験を行う方式

対象学年：小学校6年児童・中学校3年生徒

3 本市における調査結果の評価

「教科に関する調査」については正答率、質問紙調査については「児童生徒の回答の割合」を以下の基準にて評価

正答率または 児童生徒の回答の割合	表 記
80%以上	得意である、身に付いている、高い傾向にある
60%以上80%未満	概ね身に付いている、概ね理解している
60%未満	課題がある、低い傾向にある

・文部科学省の実施要領には、調査結果は学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、序列化や過度な競争が生じないようにすると記載されており、この結果をもって、小学校6年生、中学校3年生の学力をすべて網羅しているものではない。

・文部科学省からの公表・提供資料では、市町村別、都道府県別の正答率については整数値となっている。

・中学校英語においては、IRTスコアによる値のため、個々の問題のみ正答率で評価する。

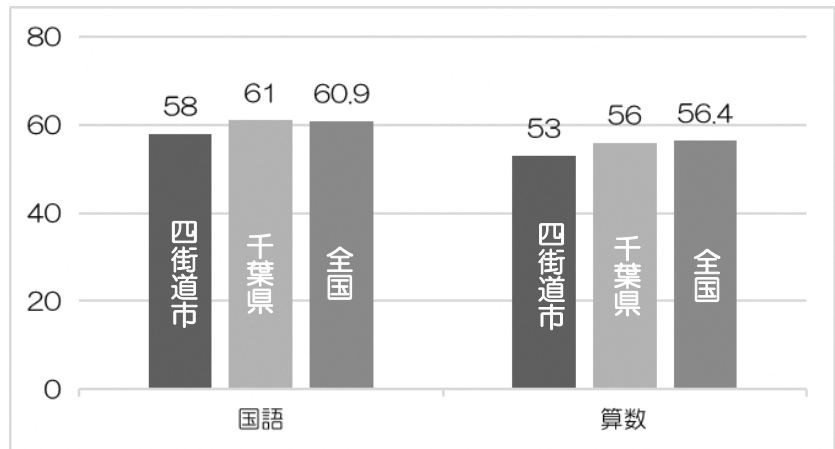
*IRT…一人一人の問題の正誤状況を活用し、調査に取り組んだ生徒の学力を測定する方法。異なる問題から構成される試験の結果を同じものさしで比較できる。「項目反応理論」

*IRTスコア…IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。

4 教科に関する調査結果概要

(1) 小学校調査

ア 平均正答率



イ 領域、問題形式別正答率

【小学校国語】

対象児童数			四街道市教育委員会	千葉県（公立）	全国（公立）	
			832	46,658	922,411	
分類		区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
				四街道市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体			13	58	61	60.9
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	60.5	66.0	66.8
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	51.7	52.0	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	64.3	66.2	65.8
		B 書くこと	2	42.2	44.5	45.7
		C 読むこと	2	63.4	65.9	65.9
評価の観点	知識・技能		6	57.6	61.3	62.0
	思考・判断・表現		7	57.7	59.9	60.1
	主体的に学習に取り組む態度		0			
問題形式	選択式		9	60.5	62.0	61.9
	短答式		2	54.4	61.4	62.6
	記述式		2	48.1	53.3	54.9

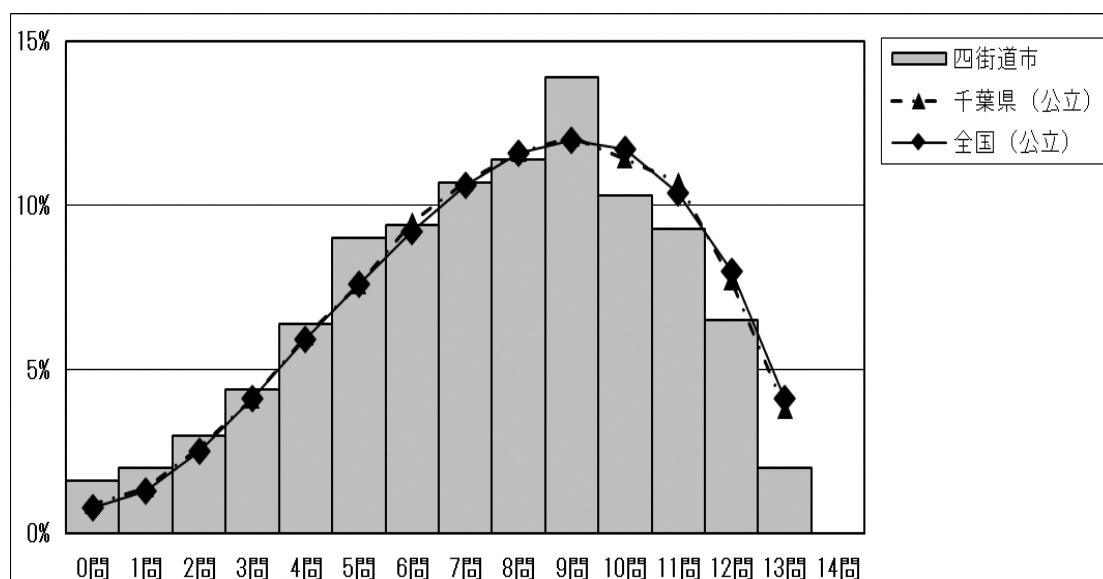
【小学校算数】

対象児童数		四街道市教育委員会	千葉県（公立）	全国（公立）
		831	46,663	922,778

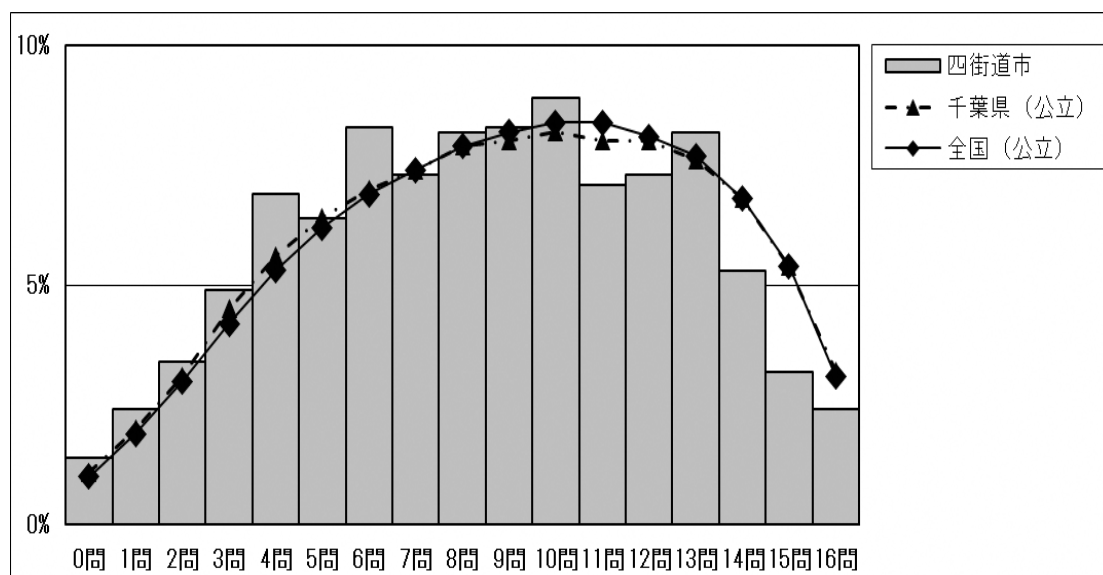
分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率(%)		
			四街道市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体		16	53	56	56.4
学習指導要 領の領域	A 数と計算	8	58.0	60.6	61.1
	B 図形	4	50.1	55.0	55.3
	C 測定	1	77.1	79.1	78.1
	C 変化と関係	3	38.8	41.4	41.1
	D データの活用	4	45.3	47.7	48.6
評価の観点	知識・技能	12	57.0	60.0	60.1
	思考・判断・表現	4	40.9	43.8	45.4
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	53.0	55.3	56.0
	短答式	8	56.5	59.9	59.7
	記述式	3	43.6	46.7	48.5

ウ 正答数の分布

【小学校国語】



【小学校算数】



エ 評価

【小学校国語】

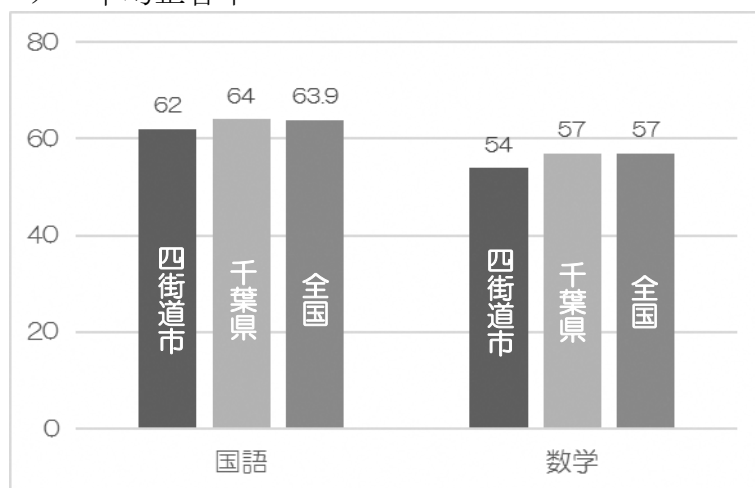
- 平均正答率で見ると、低い傾向にある。
- 「書くこと」の領域に課題がある。
- 記述式の問題について、課題がある。
- 正答数の分布を見ると、概ね望ましい分布となっている。

【小学校算数】

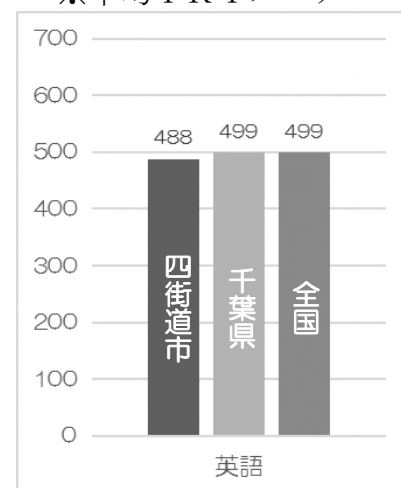
- 平均正答率で見ると、低い傾向にある。
- 「図形」と「変化と関係」の領域に課題がある。
- 思考力・判断力・表現力に課題がある。
- 記述式の問題について、課題がある。
- 正答数の分布を見ると、概ね望ましい分布となっている。

(2) 中学校調査

ア 平均正答率



※平均 I R T スコア



※IRT スコア…IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すもの。

イ 領域、問題形式別正答率

【中学校国語】

対象生徒数			四街道市教育委員会		千葉県（公立）	全国（公立）
			798		42,057	841,873
分類		区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
				四街道市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体			15	62	64	63.9
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	62.4	64.0	63.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	69.4	71.6	70.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	62.4	63.8	63.9
		B 書くこと	3	65.3	67.2	67.4
		C 読むこと	3	57.5	59.2	59.7
評価の観点		知識・技能	6	63.6	65.2	64.2
		思考・判断・表現	9	61.7	63.4	63.7
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	9	71.7	73.1	72.7
		短答式	3	54.4	56.9	55.8
		記述式	3	42.8	44.5	45.5

【中学校数学】

対象生徒数		四街道市教育委員会	千葉県（公立）	全国（公立）	
		802	42,052	842,491	
分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率（%）		
			四街道市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体		16	54	57	57.0
学習指導要 領の 領域	A 数と式	5	65.8	67.8	67.8
	B 図形	4	44.8	49.3	48.7
	C 関数	3	50.1	54.0	54.8
	D データの活用	4	50.9	53.8	53.5
評価の観点	知識・技能	12	60.6	63.2	63.0
	思考・判断・表現	4	33.6	38.8	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	3	58.6	60.1	59.3
	短答式	9	61.3	64.2	64.2
	記述式	4	33.6	38.8	39.1

【中学校英語】

対象生徒数	四街道市教育委員会	千葉県（公立）	全国（公立）
	786	41,400	839,203

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			四街道市	千葉県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の 領域	(1) 聞くこと	5	61.6	62.3	62.8
	(2) 読むこと	5	60.5	61.5	61.4
	(3) 話すこと [やりとり]	0			
	(4) 話すこと [発表]	0			
	(5) 書くこと	6	51.6	54.1	54.6
評価の観点	知識・技能	4	55.2	63.2	63.0
	思考・判断・表現	12	50.4	52.5	52.8
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	10	60.5	61.5	61.4
	短答式	2	55.8	57.8	58.0
	記述式	4	52.0	53.9	54.4

【中学校英語（話すこと）】

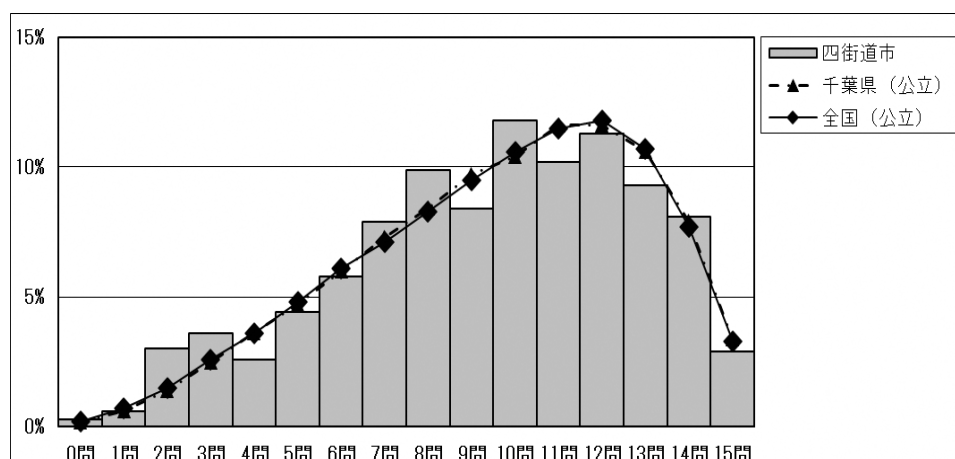
対象生徒数	四街道市教育委員会	千葉県（公立）	全国（公立）*
	765	39,597	46,645

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			四街道市	千葉県（公立）	全国（公立）*
学習指導要領の 領域	(1) 聞くこと	0			
	(2) 読むこと	0			
	(3) 話すこと [やりとり]	3	34.2	36.1	36.0
	(4) 話すこと [発表]	4	33.0	35.2	37.2
	(5) 書くこと	0			
評価の観点	知識・技能	3	34.2	36.1	36.0
	思考・判断・表現	4	33.0	35.2	37.2
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	0			
	短答式／口述式	3	34.2	36.1	36.0
	記述式／口述式	4	33.0	35.2	37.2

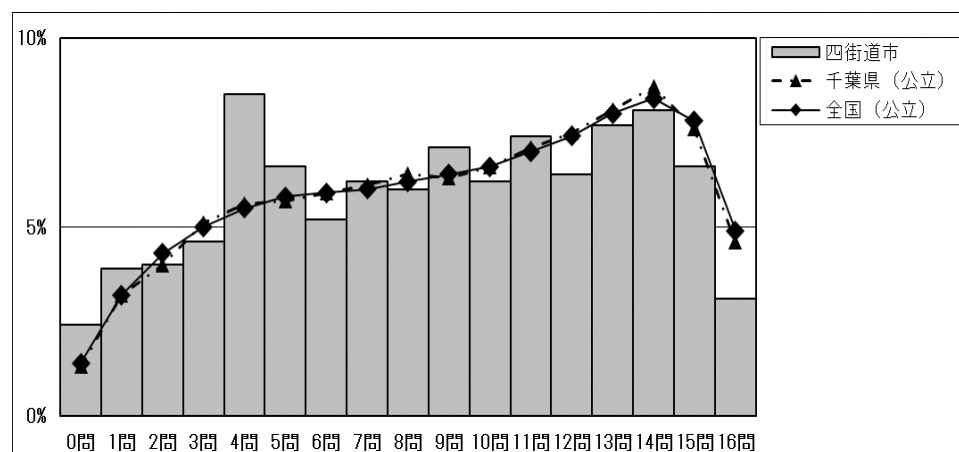
「全国（国公立）*」の値は、統計的に抽出され、英語4技能を当日に実施した学校の生徒の結果を集計したもの。

ウ 正答数の分布

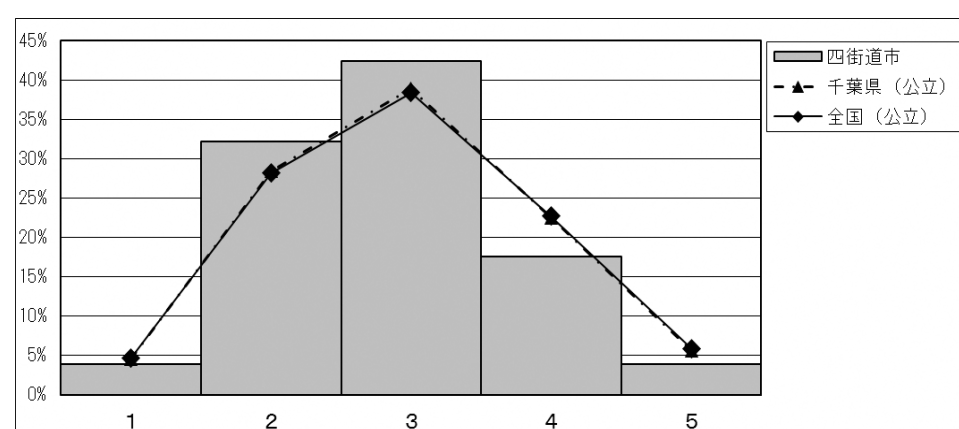
【中学校国語】



【中学校数学】



【中学校英語】※ I R Tバンドの分布



※ I R Tバンド… I R Tスコアを5段階に区切ったもの。3を基準とし、5が最も高いバンド。

エ 分析・評価

【中学校国語】

- 平均正答率でみると、学習内容を概ね理解している。
- 「読むこと」の領域に課題がある。
- 記述式の問題について、課題がある。
- 正答数の分布をみると、概ね望ましい分布となっている。

【中学校数学】

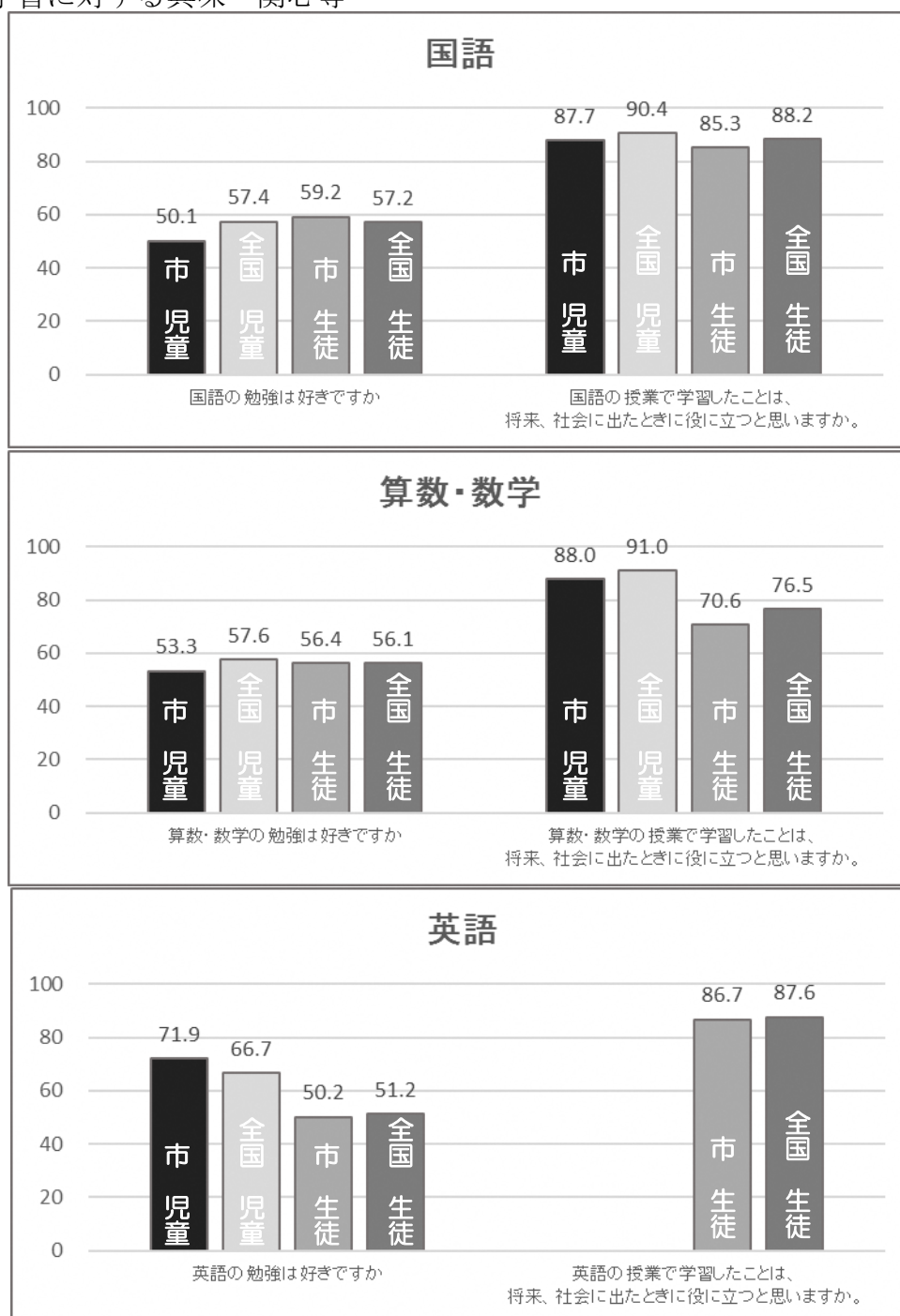
- 平均正答率でみると、低い傾向にある。
- 「図形」、「関数」、「データの活用」の領域で課題がある。
- 思考力、判断力、表現力を問う問題に課題が見られる。
- 記述式の問題について、課題がある。
- 正答数の分布をみると、平均正答率より低いところに偏りが見られる。

【中学校英語】

- I R Tバンドの分布をみると、2の分布が若干多い。
- 「書くこと」、「話すこと」の領域に課題がある。
- 思考力、判断力、表現力を問う問題に課題が見られる。
- 記述式の問題について、課題がある。

5 児童生徒質問紙調査結果概要

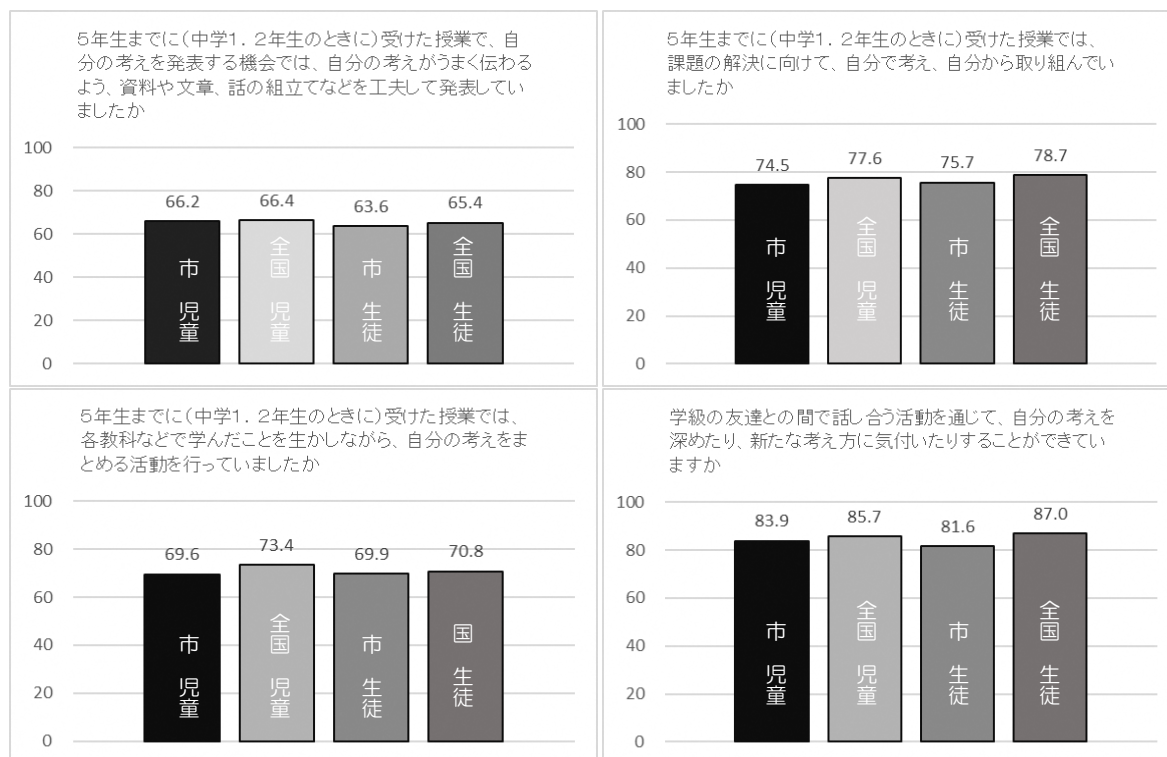
(1) 学習に対する興味・関心等



【評価】

- 小学校では、国語・算数に対する興味・関心について、低い傾向にあるが、英語に対する興味・関心は高い傾向にある。
- 中学校では、英語に対する興味・関心が低い傾向にある。
- 小学校、中学校ともに、各教科の学習に対して「将来、社会に出たときに役に立つ」と考えている割合が概ね高い傾向にある。今後も学ぶ必然性や意義が感じられる学習活動となるよう努めていく必要がある。

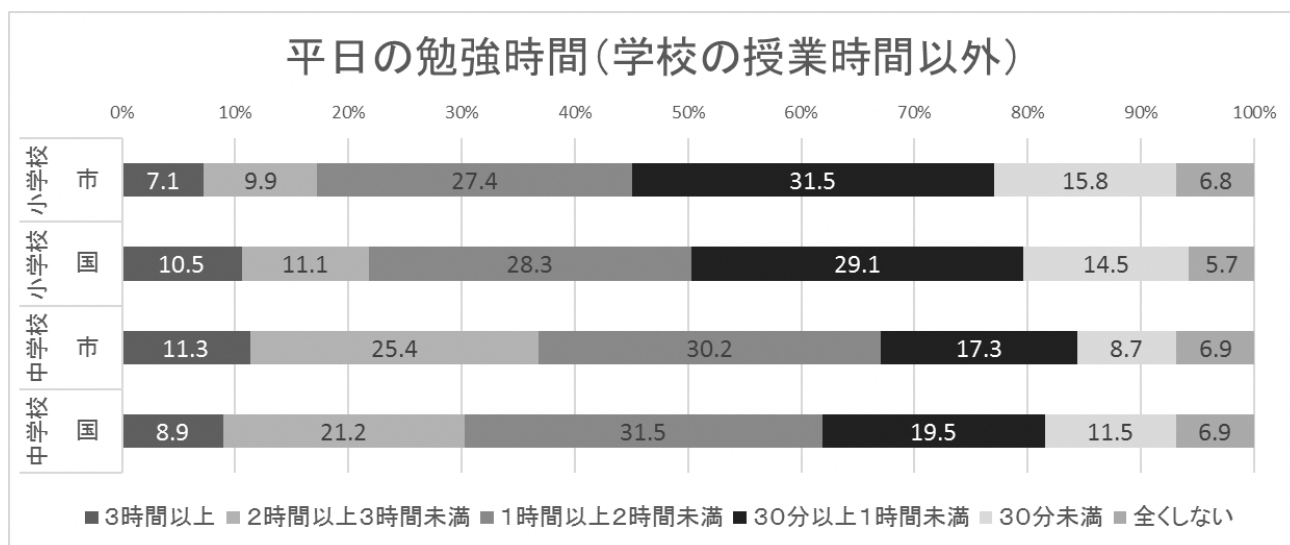
(2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

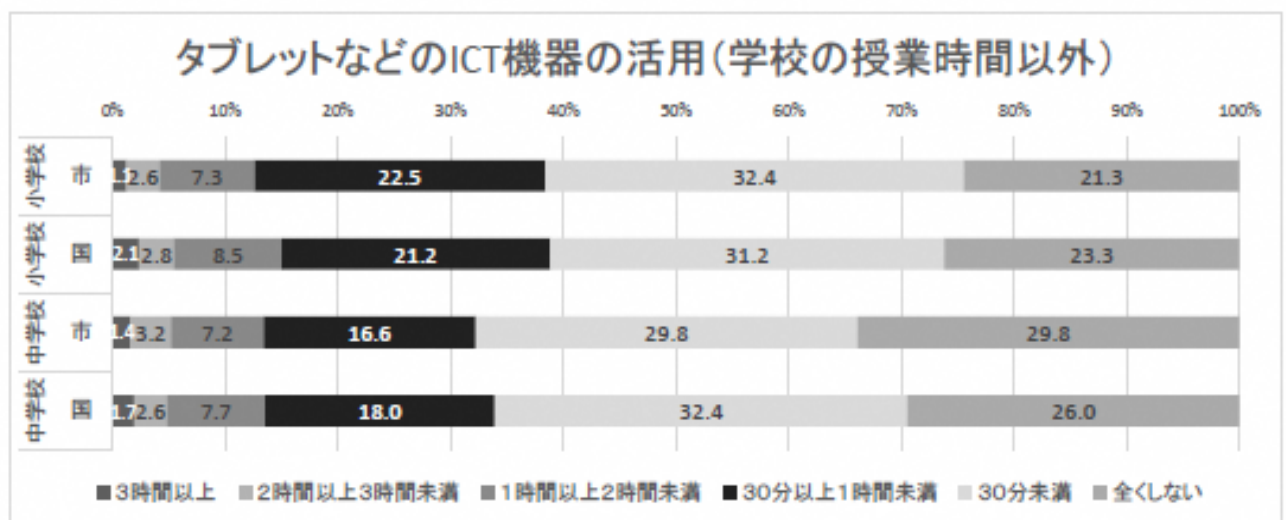
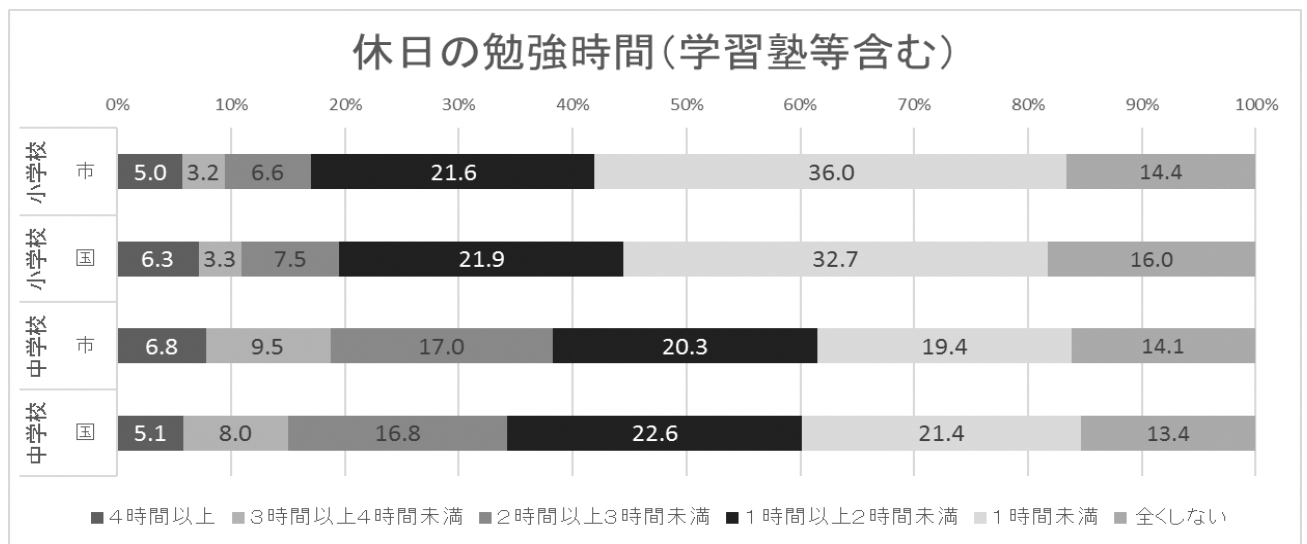


【評価】

- 各学校で主体的・対話的で深い学びの視点を意識した授業が展開されている。
- 発表、自ら取り組む、自分でまとめる、話し合いの4つの活動について、昨年度と比較して減少している項目があるため、今後も学年の実態に応じた継続的な取組が必要である。

(3) 学習習慣等

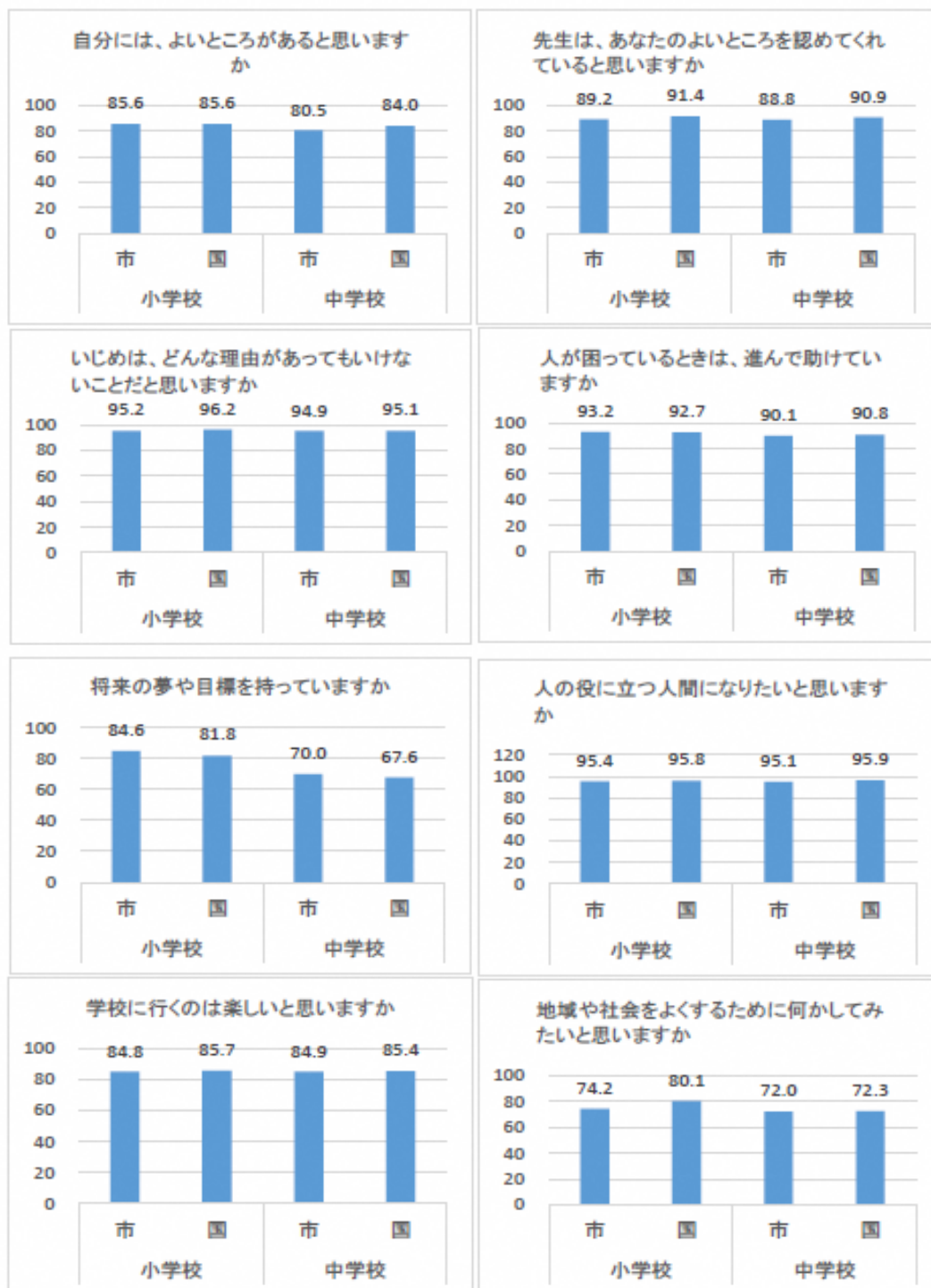




【評価】

- 平日の授業以外の学習時間については、小学校では4 5 %の児童、中学校では6 7 %の生徒が1 日当たり1 時間以上学習に取り組んでいる。
- 中学校では、平日休日ともに1 日当たり1 時間以上学習に取り組んでいる生徒の割合が6 0 %を超えており、小学校と比べて学習習慣が身に付いているといえる。
- 平日、休日ともに全く学習しない児童生徒の割合を減少させるため、家庭との連携や ICT 機器の活用に取り組む必要がある。
- 学校の授業時間以外での ICT 機器の活用については、小学校、中学校ともに3 0 分未満の割合が半数以上を占めており、児童生徒及び家庭への周知案内をより積極的に進めていく必要がある。

(4) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等



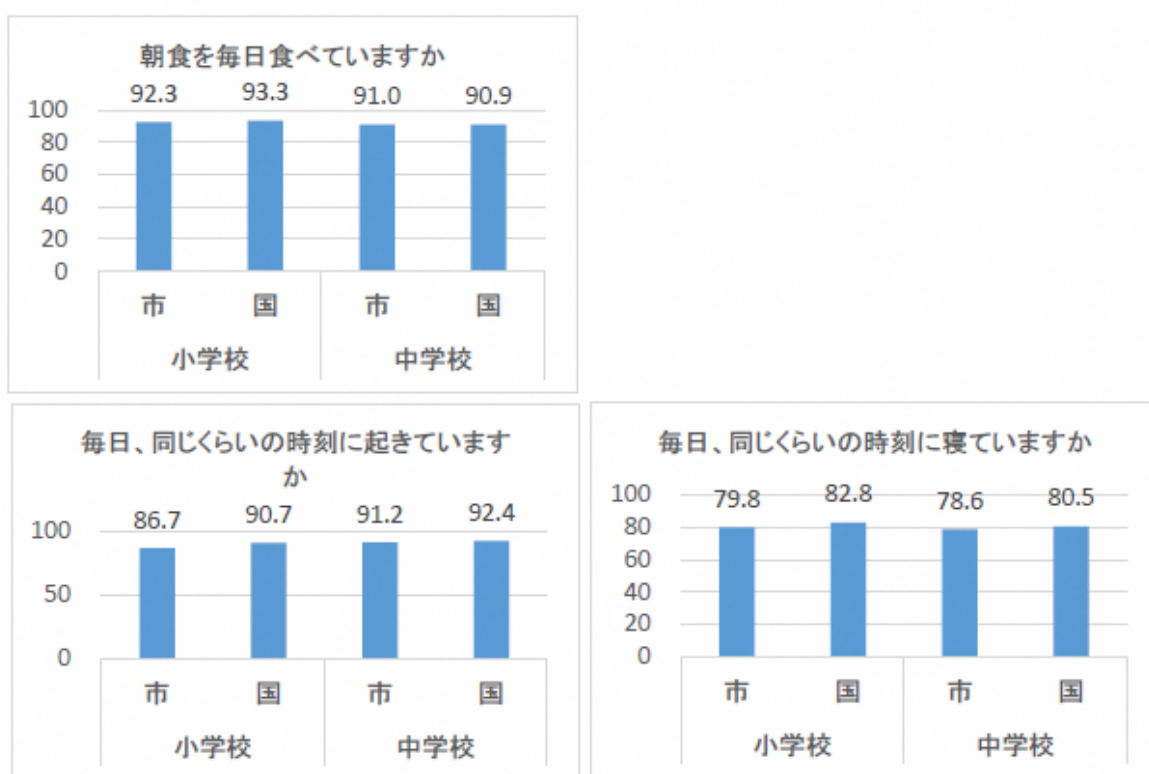
【評価】

- 「自分には、よいところがある」「先生は、よいところを認めてくれている」等の問いに対しては、小中学校ともに肯定的な回答の割合が高く、良好な状態である。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけない」「人が困っているときは、進んで助けている」等の問いに対しては、小中学校ともに肯定的な回答の割合が高く、規範意識が身に付いている。
- 「将来の夢や目標を持っているか」の問いに対しては、肯定的な回答の割合が小学校で高い傾向にある。中学校では、他の質問に比べると肯定的な回答が低

くなっている。多様な経験を積む、自分の生き方について考える等の機会の充実を図っていく必要がある。

- 「人の役に立つ人間になりたいか」との問いには、小中学校ともに、肯定的な回答の割合が高く、良好な状態である。
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに対しては、小中学校ともに、肯定的な回答の割合が高い。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいか」の問いに対しては、各校の実態に応じて、地域人材の活用や社会とのつながりを意識できる授業や学校行事等を行っていく必要がある。

(5) 基本的生活習慣等



【評価】

- ・朝食の喫食状況、就寝・起床時間いずれも、肯定的な回答が高い傾向にある。